

Fukuoka City Public Library Movie Hall

# Ciné-là

2019  
February  
March  
vol.258

# 2-3

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

beyond  
2020

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは  
映画の保存を目的とする国際団体です。  
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

特別企画 日本・スウェーデン外交関係樹立150周年

## スウェーデン映画への招待

日本初公開を含むスウェーデン映画の名作を特集



ミス・エイプリル



くばし



天使のともしび



牢獄

通常上映 アーカイヴ・コレクションPart12

## 60's~70's日本の前衛映画特集

昨今、海外から再評価されている日本の前衛映画作品を、デジタル復元版で上映。



クレイジー・ラブ



|       |                             |                             |
|-------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 金   | 11:00<br>見知らぬ港              | 14:00<br>イングリッド・バーグマン選集     |
| 2 土   | 11:00<br>露は溢れ雨は落つ           | 14:00<br>ミス・エイプリル           |
| 3 日   | 11:00<br>母というだけ             | 14:00<br>春の悶え               |
| 4 月   | 休館日                         |                             |
| 5 火   | 休映日                         |                             |
| 6 水   | 11:00<br>牢獄                 | 14:00<br>アーネ・スックスドルフ選集      |
| 7 木   | 11:00<br>母というだけ             | 14:00<br>道化師の夜              |
| 8 金   | 11:00<br>露は溢れ雨は落つ           | 14:00<br>ミス・エイプリル           |
| 9 土   | 11:00<br>天使のともしび            | 14:00<br>イングリッド・バーグマン選集     |
| 10 日  | 11:00<br>牢獄                 | 14:00<br>道化師の夜              |
| 11 月祝 | 11:00<br>ガールズ               | 14:00<br>ここにあなたの人生がある       |
| 12 火  | 休館日                         |                             |
| 13 水  | 休映日                         |                             |
| 14 木  | 11:00<br>俺たちはモッズと呼ばれる       | 14:00<br>まともな人生             |
| 15 金  | 11:00<br>ピカソの冒険             | 14:00<br>ここにあなたの人生がある       |
| 16 土  | 11:00<br>見知らぬ港              | 14:00<br>アーネ・スックスドルフ選集      |
| 17 日  | 11:00<br>俺たちはモッズと呼ばれる       | 14:00<br>スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー |
| 18 月  | 休館日                         |                             |
| 19 火  | 休映日                         |                             |
| 20 水  | 11:00<br>刑事マルティン・ベック        | 14:00<br>春の悶え               |
| 21 木  | 11:00<br>天使のともしび            | 14:00<br>ガールズ               |
| 22 金  | 11:00<br>スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー | 14:00<br>アンドレーの北極気球探検行      |
| 23 土  | 11:00<br>まともな人生             | 14:00<br>ピカソの冒険             |
| 24 日  | 11:00<br>刑事マルティン・ベック        | 14:00<br>アンドレーの北極気球探検行      |
| 25 月  | 休館日                         |                             |
| 26 火  | 休映日                         |                             |

### 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ  
うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



|                           |         |                          |                     |
|---------------------------|---------|--------------------------|---------------------|
| 60's<br>70's<br>日本の前衛映画特集 | 2/27 水  | 11:00<br>クレイジー・ラブ        | 14:00<br>略称 連続射殺魔   |
|                           | 28 木    | 休館日                      |                     |
|                           | 3/1 金   | 11:00<br>ザ・タージマハル・トラベラーズ | 14:00<br>おおえまさのり作品集 |
|                           | 2 土     | 11:00<br>クレイジー・ラブ        | 14:00<br>略称 連続射殺魔   |
|                           | 3 日     | 11:00<br>ザ・タージマハル・トラベラーズ | 14:00<br>おおえまさのり作品集 |
|                           | 4 月     | 休館日                      |                     |
|                           | 5 火▶10日 | 休映日                      |                     |
|                           | 11月▶18月 | 図書整理・点検のため休館             |                     |

日本・スウェーデン外交関係樹立150周年

### スウェーデン映画への招待

人口や経済の規模において、決して大国とは言えないスウェーデンは、しかし、多くの素晴らしい映画を生み出してきました。それは、世界映画史においてしばしば言及される、無声映画期の充実した作品群や巨匠イングマル・ベルイマンの作品にとどまりません。さまざまな映画作家たちが、厳しくも美しい自然や北欧独特の季節のリズム、文学や演劇の豊かな伝統、福祉国家としての歩み、二度の大戦における中立政策など、スウェーデンに固有の自然や歴史/社会的条件の下、ユニークな作品を撮ってきました。

本特集では、ベルイマン作品や同国出身の女優イングリッド・バーグマンの出演作品はもちろん、スウェーデン国民が愛した大衆喜劇やメロドラマ、スウェーデン映画史上の重要作、また、ポー・ヴィーデルベリやヤーン・トロエルら1960年代に台頭した新世代の映画作家たちによる革新的作品など、日本未紹介の作品を多数含む、スウェーデン映画を上映します。これほど時代や監督、ジャンルのバラエティに富んだスウェーデン映画特集は過去に類を見ず、スウェーデン映画の歴史を体系的に知ることができる絶好の機会になるでしょう。皆さまのご来館をお待ち申し上げます。

### 図書整理・点検のための休館

福岡市総合図書館は3月11日(月)～3月18日(月)まで図書整理のため休館します。休館中も図書は返却ポスト等に返却できます。図書整理期間中CD、DVD、VHSは総合図書館警備員室前のボックスに返却することができます。



#### 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

#### 【市営地下鉄】

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

#### 【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[TEL.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。

# スウェーデン映画への招待

日本初公開を含むスウェーデン映画の名作を特集

会期:2月1日(金)~2月24日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料:600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

主催:国立映画アーカイブ スウェーデン映画協会 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会

後援:スウェーデン大使館

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの発券は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

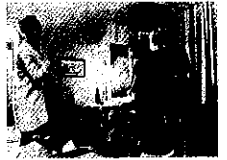
※「わの会」会員の方は300円。(会員証の提示が必要です。)



2/11(月・祝) 11:00 2/21(木) 14:00

## ガールズ

監督:マイ・セッテリング  
出演:ビビ・アンディション  
ハリエット・アンデション  
1968年/デジタル/モノクロ/100分  
日本語・英語字幕付き



女優から監督に転身したセッテリングの長篇第4作。パートナーとの関係にそれぞれ問題を抱える女優三人が、アリストバネス「女の平和」のツアー中、女性の権利獲得をめぐる困難に直面する。現実と非現実が入り交じる大胆な形式で表現された過激な風刺性は、当時の批評家と観客の反感を買い、その後18年にわたりセッテリングをスウェーデンでの映画製作から遠ざけることとなった。現在ではスウェーデン映画ベストにもしばしば挙げられる。

2/14(木) 11:00 2/17(日) 11:00

## 俺たちはモッズと呼ばれる

監督:ステーフファン・ヤール  
ヤーン・リンドクヴィスト  
出演:ケンネット・ケンタ・グスタフソン  
グスタフ・ストッフエ・スヴェンソン  
1968年/デジタル/モノクロ/100分  
日本語字幕付き



一人の若者が5分以上淡々と生い立ちを語るショットから、主人公二人(ケンタとストッフエ)が颯爽と登場し、ロックスターのように街を闊歩するタイトルバックへと鮮烈に移行する。以後おおむね「シネマ・ヴェリテ」のスタイルをとるこの映画は、若者たちの享乐的生態を活写しつつ、福祉国家スウェーデンからこぼれ落ちてしまう社会層の存在をも浮かび上がらせていく。「モッズ」ドキュメンタリー3部作の第1作。

2/14(木) 14:00 2/23(土) 11:00

## まともな人生

監督:ステーフファン・ヤール  
出演:ケンネット・ケンタ・グスタフソン  
グスタフ・ストッフエ・スヴェンソン  
1979年/デジタル/カラー/102分  
日本語字幕付き



「モッズ」ドキュメンタリー3部作の第2作。前作から約10年が過ぎ、若者たちの遊び場だった駅はすっかり荒んで、ジャンキーが寝泊りする場に。離れ離れになったケンタとストッフエはそれぞれ所帯を持っているが、薬物禍は彼らの暮らしにもやがて悲劇をもたらす。前作の映像をたびたび挿入して現在と重ね合わせ、時間の経過と社会の荒廃を表現する編集にも注目。

2/22(金) 14:00 2/24(日) 14:00

## アンドレーの北極気球探検行

監督:ヤーン・トロエル  
出演:マックス・フォン・シドー  
スヴァッレ・アンケル・アウスダル  
1982年/35ミリ/カラー/141分  
日本語字幕付き



ハリウッドから戻ったトロエルの帰国第一作。気球での北極点到達を試みて遭難死した、サーロモン・アウグスト・アンドレー(1854-1897)の野望と挫折を描く。近年に至るまで多くの歴史映画で才を発揮しているトロエルは、本作でも綿密な考証で説得力ある作品世界を構築。奇麗な自然描写は、サイレント期以来のスウェーデン映画の伝統に連なる。

2/11(月・祝) 14:00 2/15(金) 14:00

## ここにあなたの人生がある

監督:ヤーン・トロエル  
出演:エドディー・アックスベリ  
ギュードルン・プロスト  
1966年/デジタル/モノクロ/169分  
日本語・英語字幕付き



1910年代、父親が病に倒れた一家の少年オーロフ(アックスベリ)は、製材労働者、映画館の売り子、巡回興行の映写技師などの仕事を転々としつつ、独学で学問を身に付けて、恋をし、社会変革の意識に目覚めていく。1960年代以降のスウェーデン映画を牽引する一人、J・トロエルの長篇デビュー作は、一少年の成長を描きながら広い世界へ突き抜け、唯一無二の詩情をまとう決定的代表作となった。

2/2(土) 11:00 2/8(金) 11:00

## 露は溢れ雨は落つ

監督:グスタフ・エードグレン  
出演:マイ・セッテリング  
アルフ・シェーリン  
1946年/デジタル/モノクロ/103分  
日本語字幕付き



当時最大のヒットとなった恋愛映画。裕福な大農園の娘マーリット(セッテリング)とバイオリン弾きの若者(ヨーン)が恋に落ちる。二人はあらゆる困難を乗り越えて愛を貫こうとする。人間を温かく迎え入れると同時に激しく敵対する自然描写は、スウェーデン映画ならではの魅力に満ちている。

2/1(金) 11:00 2/16(土) 11:00

## 見知らぬ港

監督:エーリック・ハンベ・ファウストマン  
出演:アドルフ・ヤール  
イェオリ・ファント  
1948年/デジタル/モノクロ/85分  
日本語字幕付き



第二次世界大戦勃発直前の1938年冬、ポーランドのグダニヤ港。スペインのフランコ政権を支持するナチス・ドイツは、大量の手榴弾を缶詰に偽装して、スウェーデンの貨物船でバルセロナ港まで密輸しようとする。それを知った船員たちが取った行動は…。ソ連映画に強い影響を受けた、左翼映画作家E・H・ファウストマンの代表作。

2/6(水) 11:00 2/10(日) 11:00

## 牢獄

監督:イングマル・ベルイマン  
出演:ドリス・スヴェードルンド  
ビリエル・マルムステーン  
1949年/デジタル/モノクロ/80分  
日本語・英語字幕付き



ベルイマンが自身の脚本を初めて監督し、初期キャリア上の転機となった重要作。17歳で身ごもってしまった娘ビルギッタ(スヴェードルンド)の転落が、「この世は地獄である」という全篇を貫く主題を運奏低音として、悪夢のように展開していく。また、映画監督マッティン(ユークマン)が次作を構想する様子も並行して描かれ、メタ映画の試みとしても野心的な作品。

2/3(日) 14:00 2/20(水) 14:00

## 春の悶え

監督:アーネ・マットソン  
出演:ウララ・ヤコブソン  
フォルケ・スンドクヴィスト  
1951年/デジタル/108分/モノクロ  
日本語字幕付き



湖畔での全裸のラブシーンによって世界中でスキャンダラスなまでにヒットし、美しい自然描写と性的な自由さという、スウェーデン映画の一般的イメージを確立した作品。だが、むしろ全篇を支配するのは、教会に代表される旧道徳に縛られた農村社会と、都市文化の流入によって、一瞬の青年期を燃焼し尽くすかのように純粋に異性を求めようとする若者たちとの、熾烈な世代間闘争のドラマである。ベルリン国際映画祭金熊賞受賞。1954年日本公開。

2/3(日) 11:00 2/7(木) 11:00

## 母というだけ

監督:アルフ・シェーリン  
出演:エーヴァ・ダールベック  
ラヴナル・ファルク  
1949年/デジタル/モノクロ/101分  
日本語字幕付き



20世紀初頭から1920年代にかけてのスウェーデンの農村地帯を舞台に、日雇い農場労働者の娘リーアリア(ダールベック)が、望まない結婚と出産を経て、苦しい生活にたびたび押し潰されそうになりながらも、母として子供たちを育て上げる姿を描く。ベルイマン作品などで知られるE・ダールベックが、強く美しい女性を熱演。

2/2(土) 14:00 2/8(金) 14:00

## ミス・エイプリル

監督:ヨラン・イエンテレ  
出演:グンナル・ビョーンシュトランド  
レーナ・スデルプロム  
1958年/デジタル/カラー/100分  
日本語字幕付き



堅実な生活を送る銀行預取(ビョーンシュトランド)が、春の陽気に誘われたことから美しいダンサーの娘(スデルプロム)と出会って恋に落ち、オペラ歌手として第二の人生に目覚めてゆくミュージカル。ベルイマン映画で知られるG・ビョーンシュトランドの、喜劇俳優としての魅力にあふれた作品で、全篇取り違えと勘違いによって軽快に進行する脚本も素晴らしい。

2/7(木) 14:00 2/10(日) 14:00

## 道化師の夜

監督:イングマル・ベルイマン  
出演:オーケ・グルンベリ  
ハリエット・アンデション  
1953年/デジタル/モノクロ/93分  
日本語・英語字幕付き



困窮したサーカス団を率いるアルベルト(グルンベリ)は、旅回りの生活に疲れ果て、一度は捨てた妻(トレートヴ)に家庭に戻りたいと訴えるが拒絶され、愛人アンナも別の劇団の色男(ユークマン)に誘惑されてしまう。人間の受ける屈辱という感情を正面から見据えたベルイマンの辛辣な演出にあって、アンナを演じたII・アンデションの艶めかしい魅力が光る。1965年日本公開。

2/9(土) 11:00 2/21(木) 11:00

## 天使のともじり

監督:シェル・グレーデ  
出演:マリ・ウーマン  
フレドリック・ベックレーン  
1967年/デジタル/カラー/83分  
日本語・英語字幕付き



人気児童文学作家M・グリーベの小説を映画化した児童映画。友だちのいないヨセフィン(ウーマン)が、奔放で型にはまらない少年ヒューゴ(ベックレーン)と出会う、仲良くなる。子どもたち、そして周囲の大人たちも等しく複雑な事情を抱えた存在としてとらえる、自然主義的な眼差しが出色。ラストは深い余韻を残す。1970年の日本公開時には、日本版の音楽に変更されて上映されたが、今回上映するのはオリジナル版。

2/1(金) 14:00 2/9(土) 14:00

〈イングリッド・バーグマン選集〉

女顔 監督:グスタフ・モランデル
出演:イングリッド・バーグマン トレー・スウェンベリ
1938年/デジタル/モノクロ/101分/日本語・英語字幕付き

イングリッド・バーグマン、パランスにて

出演:イングリッド・バーグマン ロベルト・ロッセリーニ
1953年/デジタル/モノクロ/6分/日本語・英語字幕付き

ロッセリーニ家とのひととき

監督:ヤット・エングストルム
出演:イングリッド・バーグマン ロベルト・ロッセリーニ
1953年/デジタル/モノクロ/6分/日本語・英語字幕付き



ロッセリーニ家とのひととき

首飾り

監督:グスタフ・モランデル
出演:イングリッド・バーグマン グンナル・ビョーンシュトランド
1967年/デジタル/モノクロ/27分/日本語・英語字幕付き

世界的に知られたスウェーデン女優、イングリッド・バーグマンの選集。スウェーデン時代の代表作の一つ「女の顔」(1938年日本公開)。「イングリッド・バーグマン、パランスにて」は、久々に故国に帰ったバーグマンが、人々に温かく迎えらるる様子をとらえる。同じく貴重な記録映画「ロッセリーニ家とのひととき」では、ロッセリーニ作品「イタリア旅行」(1953)の撮影風景と、その合間にくつろぐ一家の様子が映し出される。モーパッサンの同名短篇を映画化した「首飾り」は、オムニバス作品「刺激」の一挿話。モランデルとは本作が最後のコラボレーションとなったが、その隙のない演出は残酷なまでに研ぎわたっている。

2/6(水) 14:00 2/16(土) 14:00

〈アーネ・スックストルフ選集〉

くちばし 監督:アーネ・スックストルフ
1944年/デジタル/モノクロ/18分/日本語字幕付き

街の人たち 監督:アーネ・スックストルフ
1947年/デジタル/モノクロ/18分

出立 監督:アーネ・スックストルフ
1948年/デジタル/モノクロ/10分

幸せは遠い雲の下に 監督:アーネ・スックストルフ
1965年/35ミリ/モノクロ/89分/日本語字幕付き

スウェーデンを代表するドキュメンタリー作家、アーネ・スックストルフ(1917-2001)の選集。「くちばし」は、無人の海岸で鳥たちが過酷な生存競争を繰り広げるさまを、美しい撮影によって見せる。「街の人たち」は、ストックホルムの1日をとらえた「都市交響楽」風ドキュメンタリーで、スウェーデン映画で初めてアカデミー賞を受賞した。「出立」は、ロマの人々が旅立つ姿を描く。スックストルフは1962年にブラジルに移住し、映画作りを教える傍ら、貧しい子供たちの救済に力を注いだ。「幸せは遠い雲の下に」は、その過程で製作された長篇セミドキュメンタリー。リオデジャネイロの高台のパラックに住む4人の孤児たちが、感傷を排したカメラによって映し出される。

2/17(日) 14:00 2/22(金) 11:00

スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー

監督:ロイ・アンダーソン
出演:アンソフィ・シュリーン ロルフ・ゾルマン
1970年/デジタル/カラー/120分/日本語・英語字幕付き

「散歩する惑星」(2000)、「さよなら、人類」(2014)などで知られるR・アンダーソン(アンデション)監督が26歳で発表し、ベルリン国際映画祭で4賞を受賞、本国でも大ヒットを記録したデビュー作。ソフト・ロック調の爽やかな旋律に乗って、15歳の少年ペール(ゾルマン)と13歳の少女アニカ(シュリーン)が育む初々しい恋模様を、世俗の垢にまみれた大人たちと対比して描かれる。1971年日本初公開時の題名は「純愛日記」。

2/20(水) 11:00 2/24(日) 11:00

刑事マルティン・ベック

監督:ポー・ヴィーデルベリ
出演:カール=グスタフ・リンドステット スヴェン・ヴォルテル
1976年/デジタル/カラー/113分/日本語・英語字幕付き

世界中で知られる警察小説シリーズの第7作「(職業すべき男)」を映画化。主役のマルティン・ベックに抜擢された(それまで喜劇映画の俳優として知られていた)C=G・リンドステットを始め、持ち味の異なる俳優たちの存在感が素晴らしい。彼らのアクションを細部まで巧みにとらえる手持ち撮影も効果的。残酷な殺人事件の犯人を、ストックホルム警察殺人課の刑事たちが追っていく。当時のスウェーデンで記録的なヒットとなった。1978年日本公開。

2/15(金) 11:00 2/23(土) 14:00

ピカソの冒険

監督:ターゲ・ダーニエルソン
出演:マルガレータ・クローク レーナ・オリオン
1978年/デジタル/カラー/113分/日本語字幕付き

ハッセ&ターゲの名で親しまれたコメディアン・チーム、アルフレッドソンとダーニエルソンは、映画監督として両者ともすぐれた作品を残している。本作は、より多作であったダーニエルソンによる一本。「芸術とは真実を伝える嘘である」というピカソの言葉を冒頭に置き、ピカソの生涯を語るのように見せかけて、奔放かつナンセンスな世界が展開する。ピカソ役はH・エークマンの息子ユスタ。アルフレッドソン(「裏切りのサーカス」のT・アルフレッドソン監督の父でもある)がピカソの父を演じる。
※日本語字幕は制作者の意向によりナレーションのみに付いています。

通常上映

アーカイブ・コレクションPart12

60's~70's日本の前衛映画特集

昨今、海外から再評価されている日本の前衛映画作品を、デジタル復元版で上映

会期:2月27日(水)~3月3日(日) ※休館日除く

観覧料:500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの発券は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)

2/27(水) 11:00 3/2(土) 11:00

クレイジー・ラブ

秘密めいた儀式的パフォーマンス、断片的なエピソードの唐突な挿入、違和感たっぷりのポップミュージックの乱用。それらによって構成された超ポップな長編実験映画。当時活躍した前衛美術家、音楽家、舞踏家たちがごぞって参加している本作は、1968年当時の若者文化の最先端が表現されている。監督の岡部道男は、現在小説家としても活動している。



監督:岡部道男
出演:ゼロ次元(パフォーマンス・アート集団) 刀根康尚
1968年/デジタル/パートカラー/90分/岡部プロ

2/27(水) 14:00 3/2(土) 14:00

略称 連続射殺魔

1968年に起きた19才の少年・永山則夫による連続射殺事件。それに衝撃を受けた監督が、松田政男、佐々木守らとともに事件の直後に製作したドキュメンタリー。しかし本作にはインタビューもなければ、永山本人の映像すらない。映画は犯人が見たであろう風景のみをひたすら映し出してゆく。そこに宮樫雅彦と高木元輝によるフリー・ジャズが流れる。「風景映画」の傑作。



監督:足立正生
音楽:宮樫雅彦 高木元輝
1969年/デジタル/カラー/86分
アンダーグラウンド・センター

3/1(金) 11:00 3/3(日) 11:00

ザ・タージマハル・トラベラーズ~「旅」について~

サウンド・パフォーマンス・アーティストとして今なお伝説的な存在である小杉武久。彼を中心に結成された「タージマハル旅行団」の、1971年ヨーロッパ演奏旅行を記録した貴重な作品。電子的旋律と原始的なリズムを持った即興演奏を奏でながら、旅行団はタージマハルを目指す。監督の大野松雄は、アニメ「鉄腕アトム」の音響デザインを担当した電子音楽のバイオニア。



監督:大野松雄
出演:小杉武久 小池龍
1973年/デジタル/カラー/103分/綜合社

3/1(金) 14:00 3/3(日) 14:00

おおえまさのり作品集 (作品はすべて監督・撮影:おおえまさのり)

Four 1966年/デジタル/モノクロ/4分

Creation 1966年/デジタル/カラー/5分

No Game 1967年/デジタル/モノクロ/17分

Great Society 1967年/デジタル/カラー/17分

Head Games 1967年/デジタル/カラー/10分

Between the Frame 1967年/デジタル/カラー/10分

Yip Out 1967年/デジタル/カラー/2分

Salome's Child 1968年/デジタル/カラー/6分

S NO.1 1968年/デジタル/モノクロ/5分

end 1968年/デジタル/カラー/16分



No Game

「チベットの死者の書」(講談社・1974年)の翻訳者として知られるおおえまさのり氏は、1965年から1969年までニューヨークに滞在し、集中的に実験映画を製作していた。六面のマルチ映像が衝撃的な代表作「Great Society」を初め、当時のニューヨークーたちの反戦運動やヒッピー文化を色濃く反映した作品が今も高く評価されている。短編全10作品を紹介。